

平成15年度事務事業評価表

担当	建設部	道路建設課	内線等	2273
事業コード		事務事業名	市道大門民成1号線整備事業	
根拠法令等	道路法		A法令 B条例 C規則 Dその他 Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	道路

②事務事業の内容

対象(受益者)	相楽町と大塚町とのアクセスを確保するため
手 段	現在の狭隘な道路を整備する事により
想定する成果	歩車道分離による歩行者、自転車の安全確保、地域道路網の充実を図る

③事業の概要

(円)

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
用 地	1,126㎡/1,894㎡	1,533㎡/1,894㎡	1,648㎡/1,894㎡
補 償	2件/12件	6件/12件	10件/12件
工事(委託費含む)	5,303,000/97,126,000	11,077,000/97,126,000	39,077,000/97,126,000

④成果指標

①

②

成果指標名	事業進捗率	
成果指標の説明	累積実績事業費/総事業費×100	

⑤事業の進捗状況

(一般会計)

(千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	54.2%
	実績	26.0%	38.1%	—
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	29,635	47,043	51,242
	人件費	8,263	8,117	8,353
	(人数)	1.3	0.8	0.5
	合計	37,898	55,160	59,595
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	37,898	55,160	59,595

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	財政難による事業進捗の遅れ
経済効率性	2	2	昨年度から工事が始まり歩行者の安全が確保される。
事務効率性	2	2	補償交渉を効率的に進めるため毎年継続して予算確保が必要である。
必要性	2	3	大塚町とのアクセス、通学路確保のため必要である。
小計	8 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	2	2	請願道路であるが既設道路拡幅のため理解が得にくい
合計	10 /15 満点中	11 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	歩車道分離による通学路として、歩行者及び自転車利用者の交通安全と、地域道路網の充実が図られる。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

--

⑧今後改善すべき点

本事業について地区総代、役員に協力依頼し用地交渉を円滑にすすめる。

--

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	建設部	道路建設課	内線等	2273
事業コード		事務事業名	市道三谷池田曲り田1号線整備事業	
根拠法令等	道路法		A法令 B条例 C規則 Dその他 Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	道路

②事務事業の内容

対象(受益者)	豊岡曲り田地区と国道247号(中央バイパス)とのアクセスを達成するため
手 段	市道を整備する事により
想定する成果	地域一帯の交通安全、防災道路として健全な市街地の形成を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
用 地	1,465㎡/17,188㎡	7,255㎡/17,188㎡	14,791㎡/17,188㎡
補 償	6件/34件	15件/34件	25件/34件
工事(委託費含む)	86,870,000/311,659,000	121,196,000/311,659,000	140,196,000/311,659,000

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	事業進捗率	
成果指標の説明	累積実績事業費/総事業費×100	

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	48.2%
	実績	19.4%	39.3%	—
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	39,570	144,771	206,000
	人件費	8,263	8,117	8,353
	(人数)	1.0	0.7	0.5
	合計	47,833	152,888	214,353
財源内訳	国			
	県			
	市債		152,888	185,400
	その他			
	一般財源	47,833	0	28,953

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	財政難による事業進捗に遅れ
経済効率性	2	2	畑地帯総合整備から起点側(国道247号)について財政難により着手できないため効率性に欠ける。
事務効率性	2	2	補償交渉を効率的に進めるため毎年継続して予算確保が必要
必要性	3	3	国道247号と畑地帯総合整備、とよおか湖公園とのアクセス道路として必要
小計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	2	2	畑地帯総合整備により協力をお願いしている。
合計	11 /15 満点中	11 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	国道247号と畑地帯総合整備、とよおか湖公園のアクセスによる利便、歩車道分離による交通安全、地域の生活環境の向上が図られる。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

--

⑧今後改善すべき点

畑地帯総合整備から起点側（国道247号）の事業に向けて継続した予算措置が必要である。

--

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	建設部	道路建設課	内線等	2277
事業コード		事務事業名	市道仲野上千尾1号線整備事業	
根拠法令等	道路法		A法令	B条例 C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	道路

②事務事業の内容

対象(受益者)	大塚町西部の鉄道北側地区へのアクセスを確保するため
手 段	市道の整備(新幹線高架橋の桁下高の確保、視距改良)をすることにより
想定する成果	通学路の安全を確保するとともに道路網の充実を図る。

③事業の概要 [累積事業費(金額) / 総事業費(金額)]

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
用 地	0㎡ / 142.03㎡	34.04㎡ / 142.03㎡	34.04㎡ / 142.03㎡
補 償	0件 / 5件	1件 / 5件	1件 / 5件
工 事(委託)	4,043千円 / 35,000千円	4,883千円 / 35,000千円	4,883千円 / 35,000千円

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	事業進捗率	
成果指標の説明	累積実績事業費 / 総事業費 × 100	

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	13.1%
	実績	5.0%	13.1%	—
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	4,043	6,496	0
	人件費	4,049	6,981	3,842
	(人数)	0.5	0.9	0.5
	合計	8,092	13,477	3,842
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	8,092	13,477	3,842

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	1	1	財政難により事業進捗が遅れている。
経済効率性	2	2	用地買収に入ったばかりでまだ投資効果が出てない。
事務効率性	2	2	補償交渉を効率的に進めるために毎年継続して予算確保が必要である。
必要性	2	3	ほ場整備事業の進捗に合わせて事業を実施する必要がある。
小計	7 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	地元要望道路であり、計画時に地権者等への説明会を行い協力をお願いしている。
合計	9 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	C	通学路の安全確保、大型車輛の鉄道北側地区へのアクセス道路の確保等必要性はあるが、計画中のほ場整備事業の進捗に合うように事業実施計画を見直す必要がある。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

--

⑧今後改善すべき点

効率的な投資効果を上げるため、事業実施時期をほ場整備事業の進捗に合うよう見直す必要がある。

--

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	建設部	道路建設課	内線等	2277
事業コード		事務事業名	市道殿門平田門1号線整備事業	
根拠法令等	道路法		A法令	B条例 C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	道路

②事務事業の内容

対象(受益者)	公共施設へのアクセス道路であり、また蒲東小の児童の通学路である市道を
手 段	整備(拡幅、歩道設置)することにより
想定する成果	通学路の安全確保とともに、道路狭隘による渋滞の緩和及び交通事故の防止を図る。

③事業の概要 [累積事業費(金額) / 総事業費(金額)]

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
用 地	0㎡ / 213.64㎡	13.64㎡ / 213.64㎡	13.64㎡ / 213.64㎡
補 償	0件 / 3件	1件 / 3件	1件 / 3件
工 事(委託)	8,253千円 / 55,552千円	8,702千円 / 55,552千円	9,702千円 / 55,552千円

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	事業進捗率	
成果指標の説明	累積実績事業費 / 総事業費 × 100	

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	15.4%
	実績	7.3%	14.6%	—
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	4,000	8,190	1,000
	人件費	3,718	6,981	3,842
	(人数)	0.5	0.9	0.5
	合計	7,718	15,171	4,842
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	7,718	15,171	4,842

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	1	1	財政難による事業進捗の遅れ
経済効率性	2	1	一部であるが北側バチ部が改良され、歩行者の安全が多少改善された。
事務効率性	2	2	補償交渉を効率的に進めるために毎年継続して予算確保が必要である。
必要性	2	2	道路整備は市が実施すべき事業であるが、通学路の変更にともない検討が必要である。
小計	7 /12 満点中	6 /12 満点中	
市民参加度	2	2	地元要望事業であり、地元役員及び地権者へ説明を行い協力をお願いしている。
合計	9 /15 満点中	8 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	C	国道247号中央バイパスの開通により通学路が変更され、また交通体系も変化したため、事業計画の見直しが必要である。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

--

⑧今後改善すべき点

国道247号中央バイパスの開通による状況の変化に伴い、事業の実施時期など今後の事業計画を見直しする必要がある。

--

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	建設部	道路建設課	内線等	2275
事業コード		事務事業名	西浦堂前浜田1号線整備事業	
根拠法令等	道路法	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	道路

②事務事業の内容

対象(受益者)	県道深溝西浦線の慢性的な渋滞等の解消を図るため
手 段	市道を整備することにより
想定する成果	生活環境の充実と歩行者の安全確保及び渋滞の解消を図る

③事業の概要

(千円)

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
用地	0 m ² /8,670 m ²	0 m ² /8,670 m ²	2,671 m ² /8,670 m ²
補償	0件/35件	0件/35件	8件/35件
工事	4,658/933,558	10,358/933,558	129,558/933,558

④成果指標

①

②

成果指標名	事業進捗率	
成果指標の説明	累積実績事業費/総事業費×100	

⑤事業の進捗状況

(一般会計)

(千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	13.9%
	実績	0.5%	1.1%	—
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	0	5,700	119,200
	人件費		8,117	8,353
	(人数)		0.7	1.8
	合計	0	13,817	127,553
財源内訳	国			
	県			
	市債		0	102,600
	その他			
	一般財源	0	13,817	24,953

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	平成16年度から用地買収に着手。
経済効率性	2	1	平成16年度から用地買収に着手。
事務効率性	2	2	平成16年度から用地買収に着手。
必要性	3	3	県道深溝西浦線のバイパス道路である。
小計	9 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	計画時と用地測量後に地権者等に説明会を行ない理解と協力をお願いしている。
合計	10 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	県道深溝西浦線のバイパス道路となり、西浦町及び形原町内の慢性的な交通渋滞の解消及び交通の安全を図る。また、災害時の緊急対応道路としての機能をもつものである。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

--

⑧今後改善すべき点

市道の起点の東側から順番に用地買収を進め、地権者の分かりやすい形にて事業を効率良く進める。

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載